



熊井・今宿地区で伝統の祭囃子を奉納



①昨年(平成30年)から復活した「獅子の練り歩き」
③奉納の最中、次世代へと引き継がれる伝統



②衣装が新調され、輝きを増した三番叟
④二世代で奏でられた音色は、その場にいた人の心を躍らせた

7月20日に、熊井毛呂神社の例大祭で屋台囃子が、7月27、28日には、今宿八坂神社の夏季例大祭で祭囃子が奉納されました。

熊井毛呂神社では、昭和50年代後半に一度は途切れた熊井屋台囃子も、その後は保存会の皆さんの努力により脈々と続いています。今年も、無病息災や五穀豊穡などを願い、祭囃子保存会の皆さんが奏でる豊かなお囃子の音色が、神聖な森の中に鳴り響きました。

今宿八坂神社では、多くの子どもたちが保存会に参加し、数か月に渡る練習の成果を発揮しました。祭囃子を奉納しながら神社周辺を回る山車巡行も、交通事情の変化などにより、一度は途切れていましたが、保存会や地域の皆さんの力で、平成2年から再開され、紡がれてきた伝統です。今年はおきな・三番叟・福の神の装束が新しくなり、気持ちを新たに奉納しました。

町で初となる「スーパー健康長寿サポーター」が誕生しました

埼玉県では県民の健康づくりを推進し、健康寿命を延伸することを目的に、健康長寿サポーター養成事業を実施しています。6月30日現在、県内で86,462人、鳩山町では、588の方が健康長寿サポーターとして認定されています。

健康長寿サポーターとは、自ら進んで健康づくりを実践するとともに、家族や友人、周りの方々に健康づくりを勧める役割を担う人のことです。

この健康長寿サポーターの中から、健康づくりのリーダーとして積極的に指導・助言ができる方に、サポーター養成講習の講師となっただき、地域の隅々にサポーター養成を拡大していく役割を担うのが「スーパー健康長寿サポーター」です。

今回、5人の町民の方が鳩山町で初めて「スーパー健康長寿サポーター」として認定されました。



写真は、7月29日(月)にウエスタ川越で開催された養成講習を修了され、「スーパー健康長寿サポーター」として認定された皆さん(写真左から、小川唯一さん、日比谷 龍夫さん、牛島 由紀子さん、星野 和男さん、三井 章司さん)です。今後は、地域の健康づくりの担い手として多方面で活躍されることが期待されています。

今年も盛大に開催 夏の風物詩「納涼夏まつり」



会場の様子



会場の様子



会場にいるみんなで「盆踊り」



大人みこし



出演団体の「太鼓の演奏」



子どもみこし



幼稚園・保育園児の「踊り」



出演団体の「バンド演奏」

鳩山町納涼夏まつり実行委員会の主催により、8月3日に第1会場である中央公民館北側駐車場、4日には第2会場である鳩山ニュータウンセンター地区広場で納涼夏まつりが開催されました。

今年もボランティアを含む多くの方々のご協力により、たくさんのお出会いと笑顔が生まれました。

地域の見守り活動 青少年非行防止パトロール

7月28日、8月3日と30日の3日間、町青少年問題協議会(事務局：町民健康課)と町校外補導委員会(事務局：教育委員会事務局)、少年指導委員の合同で、町内で行われる夏まつりなどにあわせて、非行防止のパトロールを行いました。

夏まつり会場では青少年の非行を防ぐため、啓発物品を配布しながら、子どもたちへの声かけなど、夜間の見回り活動を行いました。



▲7月28日の今宿八坂神社祭囃子でパトロールをした皆さん。



▲8月3日の鳩山町納涼夏まつりでパトロールをした皆さん。